

本論文は

# 世界経済評論 2019年 1/2月号

(2019年 1月発行)

掲載の記事です



## 世界経済評論

# 定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

# 6,600円

税込

17%

送料無料  
OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読  
期間中

# デジタル版バックナンバー読み放題!!



## 世界経済評論 定期購読



# ☎0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。  
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

**Fujisan.co.jp**  
雑誌のオンライン書店

## 稼げる FTA 大全 すぐ実践！利益がぐんぐん伸びる

パナソニック株式会社 渉外本部 国際渉外部 主幹 上之山 陽子



【著者】羽生田慶介（はにゅうだ けいすけ）  
デロイト トーマツ コンサルティング合同会社  
執行役員

【発行】日経 BP 社、2018 年 7 月

【判型】A5 判、280 ページ

【定価】本体 2500 円 + 税

年末から来年初頭にかけて、TPP11 協定や日 EU 経済連携協定等の多国間 FTA の発効が見込まれる。当然、発効した FTA を活用した日本企業の更なる競争力強化が期待されるが、実際のところ積極的に FTA 活用を行っている日本企業はまだ少ない。

本書では、現在のような激動の国際情勢下では、今後、FTA への備えがない企業は非常に困難な状況に置かれる可能性が高い、と注意喚起し、それを避けるために必要な、FTA をフル活用するための「知識」と「方法」を分かりやすくかつ具体的に解説している。

冒頭に、イソップ物語の「アリとキリギリス」を準えた寓話がある。キリギリス社長が「FTA なんて、手間とリスクがあるばかりで、

何もいいことはない」と肩を落とす。この姿は、モノづくりに熱心な日本の生産者にとって、実感があるかもしれない。しかし、現在の通商環境で生き残るためには、やはり FTA への備えが不可欠なのである。

導入編では、「まず理解すべき通商の基本」として、なぜ企業の通商リテラシーが低いのか、その理由を述べ、経営トップが「通商で利益が上がることを示し、その重要性を社内に認識させることが必要であるとしている。そして、FTA 活用のメリットを金額的に可視化し、リスクについては FTA を活用しない場合のリスクと、FTA を活用した場合のコンプライアンスリスクの 2 つについて説明している。

実践編では、「すぐ始める通商対応」として、FTA 活用の具体的なアプローチが示され、FTA の使い漏れは現場の担当者の責任ではなく、経営の責任であるとしている。実際の FTA 活用の実務の煩雑さを例示し、現場任せにせず、「原産性の判定にリソースを割くべきである」と説いている。また、関税分野だけではなく、FTA によるサービス業の海外展開や M&A など、ビジネス拡大への活用例が記載されている。

そして、戦略編では、「激動の通商環境を生き抜く」として、米国の保護主義がグローバルサプライチェーンに影響を与える可能性と、通商ルール策定への民間企業の積極的な参加を求めている。

FTA 活用に関する書籍はこれまでも多く出版されているが、通商交渉に重点をおいたものか、もしくは活用実務に重点を置いたものかそのどちらか一方であることが多かった。この書は、その両者を分かりやすく結びつけ、忙しい企業の経営陣に対して、ビジネスの視点から FTA がどう経営戦略に影響するのかを的確に説明してくれている。

経営者が通商リテラシーを高め、経営戦略に通商の知見を生かすことが、企業の生き残りかけた一つの指針である。まずは、著者が期待する企業の経営陣の方にぜひ、読んでいただきたい。（うえのやま ようこ）